

使用するエネルギーも従来の石油エネルギーに替わって太陽光や風力等のクリーンエネルギーと安い夜間電力を利用します。また、生産する作物のオーナー制度も取り入れ、都市住民との接点となる役割も持たせるものです。

その結果

- ①農業事業者の収入増加
- ②地域観光における消費の増加
- ③地域におけるCO<sub>2</sub>の削減
- ④農業者の体質強化  
等の効果が期待されます。



ドラゴンフルーツ



ミラクルフルーツ



パパイヤ

この取り組みが実用化されれば畜産業などにも利用が可能になり、農業にとって大変期待される事業になります。

今後も知の拠点、九州大学と連携を強めることにより教育分野や企業誘致等も含めて大いに恩恵を受ける可能性を持っているのは事実です。

九大の伊都キャンパス移転は宝の山だとも言われています。その宝の山を掘り出すのは行政としての前原市の任務です。関係する地域住民も一体となってこの宝の山から1つでも多くの宝を掘り出し、前原市来るべき糸島市の発展に寄与することを願うばかりです。

これからも期待を持って注目してゆきましょう。

用語解説

※1 **メラトニン**………脳のほぼ真ん中にある松果体から分泌されるホルモンで、体内時計の調節、がん細胞を排除する免疫力の向上、抗酸化力の増強などに効果があると報告されています。生成には光と大きな関わりがあって2500ルクス以上の明るい光を浴びると脳内で生成され、約14時間後に分泌されます。夜、暗くなればなる程血液中への分泌量が増えます。メラトニンの生成には早寝早起きが大切だということになります。

元気な前原・住みたい前原にするために、皆様のご意見、ご要望をお聞かせください。

**小島忠義事務所**

〒819-1112 福岡県前原市浦志二丁目5-20

TEL(092)322-0155

FAX(092)322-4900

E-mail:kojima-tadayoshi@iwa.bbiq.jp

# 小島忠義の “かけ橋” 議会通信

Vol.11

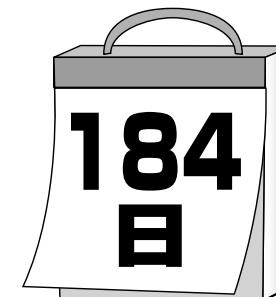


水田一面に苗が植えられ、日本の原風景とも云えるきれいに管理された田んぼを眺めていると心穏やかになります。

一方景気の方は15兆円を超える景気対策として組まれた大型補正予算も効果の程はこれからという事でしょうか。前原市も来年1月1日をもって“糸島市”となりますが、7月1日現在であと184日ということになります。

定額給付金の支給に合わせて発行されたプレミアム付商品券（eチケット）は1億2千万円分がわずか2週間も経たない間に完売したとのこと。これから6ヶ月以内に前原市内で使用されるとかなりの経済効果が期待できると思われま

台併まであと



7月1日現在

## 食育の推進で子どもを元気に！

栄養の偏り、不規則な食事による生活習慣病の増加、肥満や過度のヤセ願望、さらには食品の安全性に対する信頼の低下、「食」の海外への依存の問題が生じている今日、平成17年6月に食育基本法が成立しました。

この法律がめざすものは

- 1, 健全な食生活の実現
- 2, 都市と農山漁村の共生や交流
- 3, 地域社会の活性化
- 4, 豊かな食文化の継承及び発展
- 5, 環境と調和のとれた食料の生産及び消費の推進
- 6, 食料自給率の向上



に寄与することが期待されているものです。つまり農業を産業の一部門としてではなく「暮らしを作る産業」として見直し、地域活性化や食料自給率の向上も経済の原理からではなく、暮らしの原理から健康で文化的な生活と活力ある社会を取り戻すことに重点を置いたものといえます。